

中古住宅・リフォーム市場 倍増へ

政府が平成 22 年 6 月 18 日に発表した「新成長戦略」において、「中古住宅流通・リフォーム市場を現在の 10 兆円から 20 兆円規模へと倍増を目指す」ことが盛り込まれました。住宅業界が着実に「新築から中古・リフォームへのシフト」が進んでいる中、中古住宅市場は新築以上に競争が激しく、生き残るためには各社、**信用力を高め、他社との差別化** が強く求められています。

中古住宅流通・リフォーム市場で
勝ち抜くための**5つのキーワード**

中古住宅流通の常識が変わる！！

- ① インспекション(住宅診断・建物調査)
- ② リフォーム工事瑕疵保険
- ③ 既存住宅売買瑕疵保険
- ④ 住宅履歴情報「いえかるて」
- ⑤ 住宅エコポイント

すべて取り扱っています！！

- 他社と差別化を図りたいが、どう付加価値を付け
ればいいのかよくわからない・・・。
- 瑕疵担保責任のリスクをヘッジしたいが、何かい
い方法はないだろうか・・・？
- 買取り再販売を考えているが、物件を買い取る前
に瑕疵保険に加入可能かどうかを確認したい。

これらを、どう活用すればいいの？

こんな悩みをお持ちの方には。

例) リフォーム工事を行う場合

- ① 住宅エコポイントを利用して最高 30 万ポイントのお得
- ② リフォーム工事瑕疵保険に加入して 5 年間の安心
- ③ 住宅履歴情報「いえかるて」に登録して 35 年間のサポート

例) 仲介業務を行う場合

- ① インспекション(建物検査)を利用して安心の取引
- ② 既存住宅売買瑕疵保険に(個人間タイプ)加入して 5 年間の安心
- ③ 住宅履歴情報「いえかるて」に登録して 35 年間のサポート

例) 買取り後リフォームして再販する場合

- ① インспекション(建物検査)の利用で安心して買取り
- ② 既存住宅売買瑕疵保険に(宅建業者タイプ)加入して 5 年間の安心
- ③ 住宅履歴情報「いえかるて」に登録して 35 年間のサポート

JFD では、これらをすべて **ワンストップサービス** でご提供しております。

また上記の他にも、新築住宅瑕疵保険の取扱い、耐震診断や沈下物件の調査・修正工事等も手がけ、不動産会社・建設会社様のサポート・コンサルティング業務を承っております。

JFDでは会員様限定で **無料相談** と、**各社に合わせた最適なスキーム** のご提案を行っておりますので、ぜひ、この機会にお気軽にご連絡下さい・・・。



(株) JFD クリエイティブサポート

TEL: 06-6531-3314

FAX: 06-6531-3332

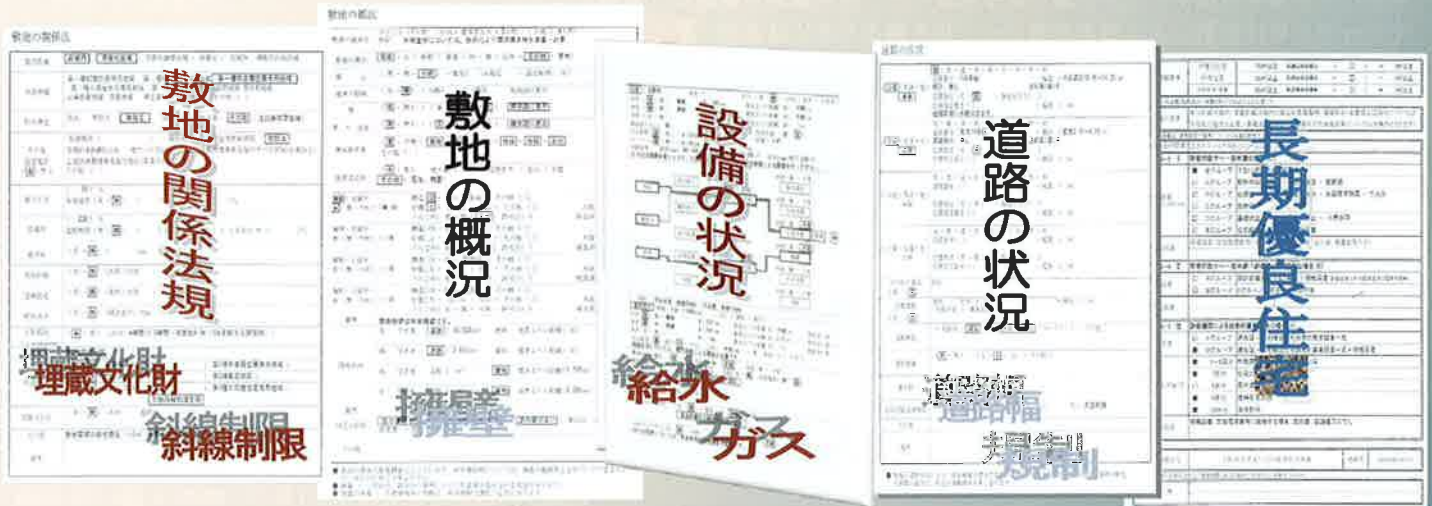
ホームページも

ご覧下さい!

<http://www.jfd.jp/>

JFD

重要事項確認に不安はありませんか？ 「役所確認」「敷地状況確認」引き受けます！！



担当役所、法務局資料を確認し、報告書を作成 ⇒ 8万円（登記情報取得手数料は別途）

越境確認

高低差確認

実況面積確認

敷地状況確認

現況測量図作成 ⇒ 7万円～

（面積等の条件により変わります。）

敷地の詳細を確認し、打ち合わせ促進に
販売促進資料として

現況測量図

- 辺路中心線
- 敷地境界線・道路境界線
- 側溝
- 電柱・電柱柱・交線
- ① 700-4(下水)
- ② 700-4(雨水)
- ③ 700-4(排水)
- ④ 700-4(全線)
- ⑤ 公共排水(下水)
- ⑥ 公共排水(雨水)
- ⑦ 排水設備(排水・雨水・給水・ガス)等
- 境界(のり)
- 境界(測定点)
- ⑧ 新築(5・5・5)
- ⑨ 才木
- ⑩ E
- 万年植
- 石
- プラス
- コブ
- 石積み・その他
- 玉石・石垣
- 踏切(踏切)
- 法面
- 給水設備
- 排水設備
- ガス設備
- ガスメーター
- 電気
- 止水栓
- 雨水排水設備
- 下水排水設備
- 井戸
- 浄化槽

株式会社 JFD	電話番号	FAX 番号	工事名	図名
エンジニアリング	06-6531-3326	06-6531-3332	様邸 新築工事	現況図

費用、工程等 お気軽にお問い合わせ下さい。

(株)JFD エンジニアリング TEL:06-6531-3326
FAX:06-6531-3332

JFD

検索



地盤 リフォーム

家の傾き復旧

液状化

地盤沈下修正

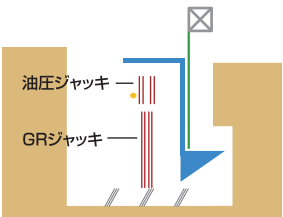
4' &k ±70 i § i î ° - â ± î f >>

再沈下の場合にすぐに直せます

工事の特徴
● 再沈下の場合短期に修復可能
● トータルコストが割安

再沈下対応工法 (GRジャッキ工法)

GRジャッキを設置しておくことで余震等による再沈下にも、すぐに修正が可能な工法

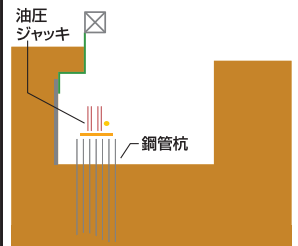


再沈下の心配がありません

工事の特徴
● 居住しながら施工可能
● 振動騒音が少ない

鋼管圧入工法

鋼管を継ぎ足しながら地盤の支持地盤まで圧入させ、その反力で家屋を持ち上げ、沈下を修復させる工法。

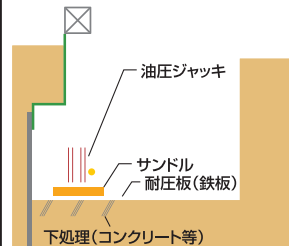


狭い場所での工事も可能

工事の特徴
● 居住しながら施工可能
● 施工機が入らない狭い場所での工事も可能

耐圧版工法

基礎下に鉄板を配置し、家屋の沈下修復を行う工法。

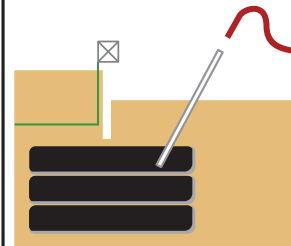


経済的で最短工期が可能

工事の特徴
● 居住しながら施工可能
● 施工日数が短い (2日~7日程)

薬液注入工法

地上から、建物の基礎部の軟弱層に向けて、薬液の注入を行う工法。

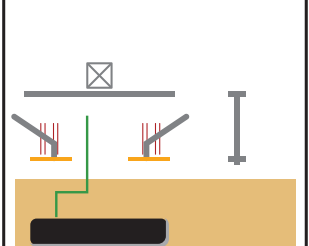


経済的で安心おすすめプラン

工事の特徴
● 掘削を伴わないため、生活への支障が少ない
● 建物下全体の地盤を固めるので地震にも強い

土台上げ工法

縦穴を掘り水平打ちのマシンにより効果的にグラウト材を注入し沈下の修正を行う工法。



耐震補強

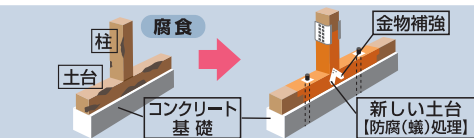
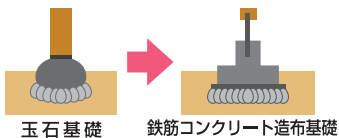
大切な住まいを守ります

耐震リフォーム 室内のリフォームに併せて耐震リフォームも一緒に検討し、地震に耐えることができる安心な建物にしましょう。

◆地震対策に必要なリフォーム例

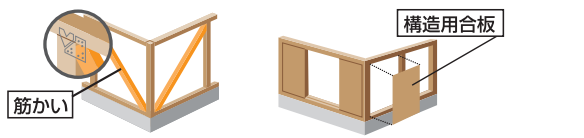
建物の揺れは、地盤の状態によって大きく左右されます。

軟弱地盤であった場合、地盤の沈下や液状化の恐れがあります。



耐震金物を使用し、接合部をしっかり補強して床、壁、柱を一体化させます。

屋根を軽くし、構造体への負担を減らします。また、地震の揺れを軽減させます。



耐力壁を増やします。(構造用合板+筋かいで外壁・内壁の補強と増設) 建物の規模に応じた耐力壁が必要です。

